



お客様第一の業務運営における取組事例 (2019年度)

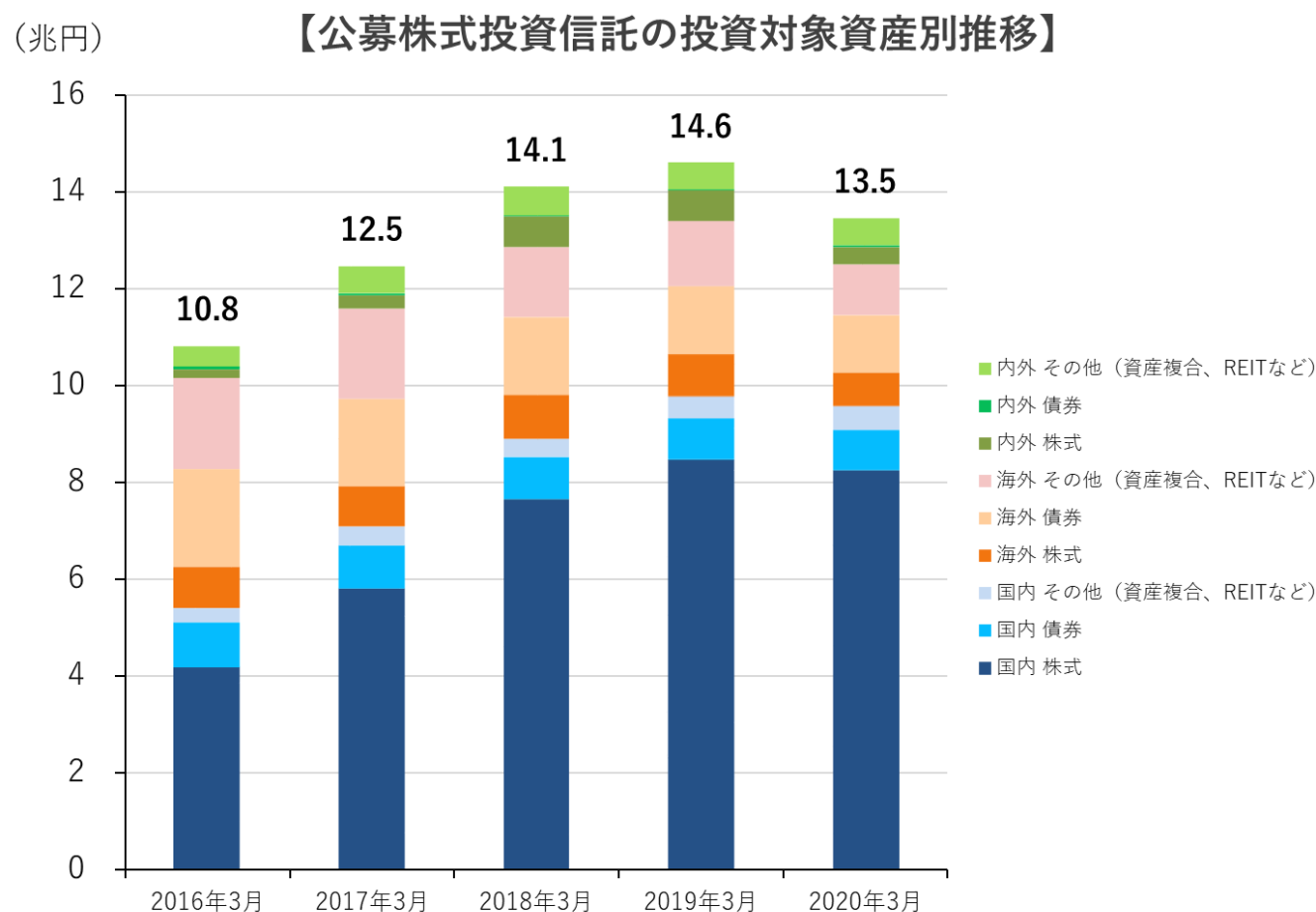
2020年6月1日
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

お客様第一の業務運営

当社は、お客様に最も信頼され、選ばれる資産運用会社を目指し、お客様の利益を第一に考えた業務運営を行っています。

お客様からご期待を賜り、当社は、株式投資信託等で幅広い商品ラインナップを揃え、投資信託ビジネスにおいて、わが国でトップクラスの規模の資産をお預かりしています。



※ 投資対象資産については、投信協会の商品分類を基に集計

1. お客様の利益を追求する運用、金融商品・サービスの提供

新たな投資機会の提供

大和証券グループ本社、当社とGlobal Xは、アセットマネジメント分野において協業し、ETFビジネスを通じてお客様の資産形成をサポートする合弁会社「Global X Japan」を設立しました。また、ETFビジネスの重要性の高まりを踏まえ、当社のETFビジネスへの取組姿勢についてご理解頂くと共に、ETF推進に係る企画・立案に関する業務を高度化し、Global X Japan等と連携するため、ETFビジネスに関する専門組織として「ETF推進課」を新設しました。今回、テーマ型ETFビジネスにおいて先進的な商品作りで多くの実績を有するGlobal Xと協業することで、商品組成、マーケティング等一貫して行うことが可能となり、個人投資家のお客様に新たな投資機会を提供し、「貯蓄から資産形成へ」の流れを強力にサポートしていきます。

ESG・SDGsに対する取組み

資産運用ビジネスを通じ、ESGやSDGs課題に対して積極的に取り組んでいる企業等への投資機会を提供すると共に、持続可能性の高い社会の実現に貢献することを目指します。企業等のESGに対する取り組みを、中長期的な成長力拡大とリスク低減の両面につながるものと捉え、投資判断に活用すると共に、エンゲージメントを通じて、ESGに対する積極的な取り組みを求めESG課題を共有することで、企業等の中長期的価値や持続可能性の向上の一助となることを目指します。

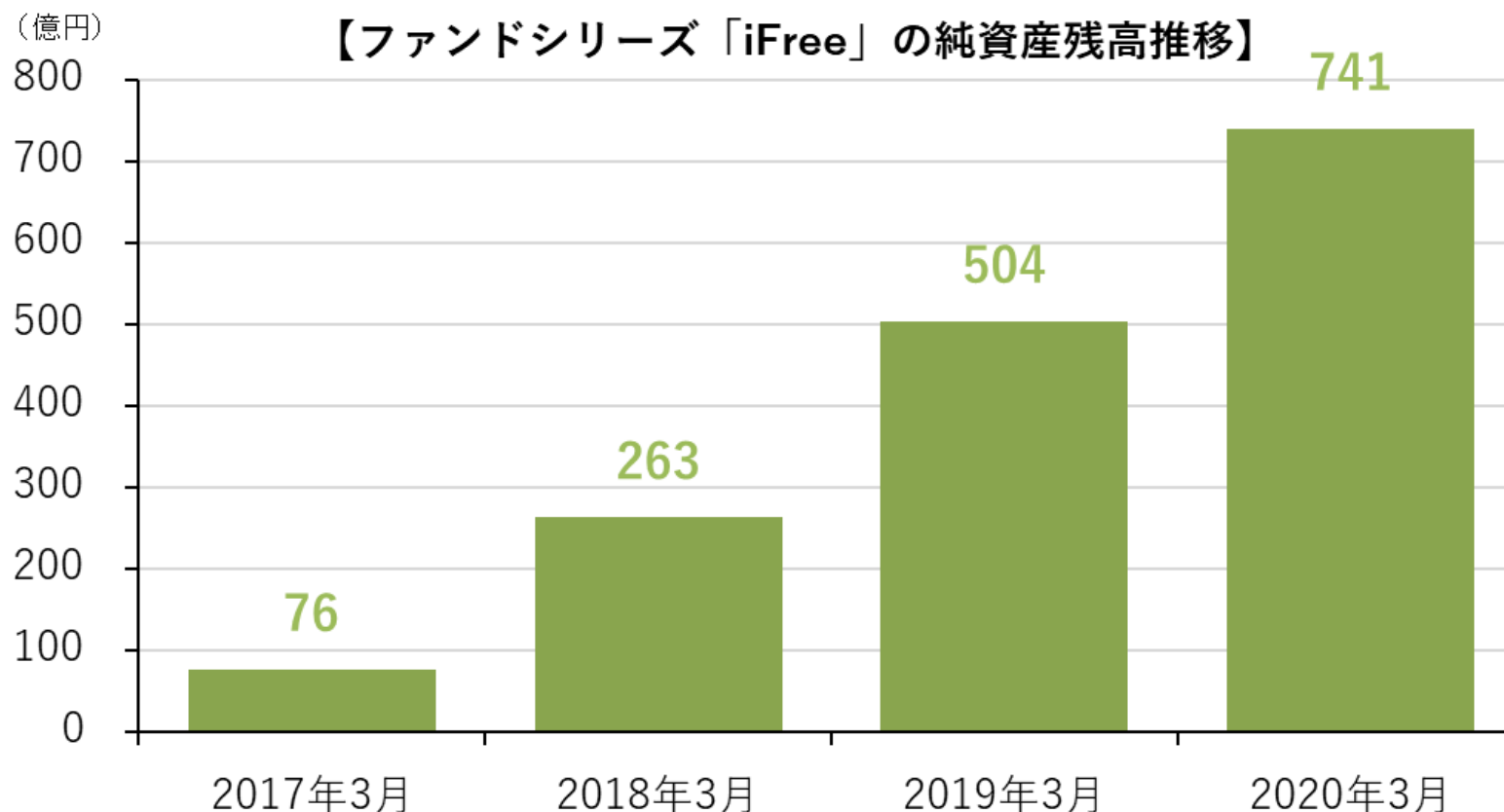
高い専門性を持つ社員の育成

高度な専門的知識・技術を有する人材を育成・確保し、その能力の向上に努めています。公益社団法人日本証券アナリスト協会の証券アナリスト資格の社内保有者は、2019年度末で310名（うち2019年度資格取得者13名）です。

1. お客様の利益を追求する運用、金融商品・サービスの提供

長期・積立・分散投資に資する商品の提供

長期・積立・分散投資による資産形成ニーズにお応えするため、多様な商品を取り揃えています。インターネットを利用するお客様をはじめ、さまざまな投資ニーズに対応するファンドシリーズ「iFree」について、2019年度は、引き続き合計26本のラインナップとしました。2018年1月から開始したつみたてNISAによる積立投資ニーズに対しては、14本を対象商品としています。



1. お客様の利益を追求する運用、金融商品・サービスの提供

運用力に関するKPI①（残高加重レーティング）

良質な運用実績の商品をより多くのお客様へ提供することを目指しています。お客様の中長期の資産形成に役立つよう残高加重レーティングが継続的に3を上回るよう努めています。

残高加重レーティング

（2020年3月末現在）

	残高加重レーティング	本数
公募株式投資信託	3.69	433
公募株式投資信託（除くETF）	3.25	427

※残高加重レーティングは、個々のファンドに付与されたモーニングスターレーティング（総合レーティングを使用、内容については文末の脚注1をご覧ください）のスコアに全体に占める個々ファンドの残高の割合を乗じた後、足し合わせた数値です。数値が5に近いほど運用パフォーマンスが優れていることを表します。

1. お客様の利益を追求する運用、金融商品・サービスの提供

運用力に関するKPI②（運用資産別純資産残高上位5ファンドの運用実績）（1/2）

公募株式投資信託（※）の運用資産別にみた純資産残高上位5ファンドの運用実績は次の通りです。※ 但し、DC専用、ファンドラップ・SMA専用ファンド及びETFを除きます。

過去3年間の運用実績（2020年3月末現在）

< 株式 >

ファンド名称	純資産残高 (億円)	3年間の 騰落率	リターン (年率換算)	リスク (年率換算)	3年 シャープ レシオ
ロボット・テクノロジー関連株ファンドーロボテックー	1,942	13.69%	4.37%	20.52%	0.22
ストック インデックス ファンド 2 2 5	708	4.88%	1.60%	16.16%	0.10
ダイワ F E グローバル・バリュー（為替ヘッジなし）	347	-11.08%	-3.84%	13.35%	-0.28
ダイワ F E グローバル・バリュー（為替ヘッジあり）	302	-14.04%	-4.92%	11.70%	-0.42
ジャパン・エクセレント	262	-20.12%	-7.22%	19.23%	-0.37

< ベンチマーク（株式） >

TOPIX（配当込み）	-	-0.43%	-0.14%	14.83%	-0.01
MSCI AC World Index	-	3.29%	1.08%	16.79%	0.07

< 債券 >

ファンド名称	純資産残高 (億円)	3年間の 騰落率	リターン (年率換算)	リスク (年率換算)	3年 シャープ レシオ
ダイワ日本国債ファンド（毎月分配型）	1,874	0.20%	0.07%	1.33%	0.09
ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	1,676	-14.16%	-4.96%	8.63%	-0.57
ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）	1,165	-4.27%	-1.44%	5.86%	-0.24
ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月分配型）	1,073	-5.10%	-1.73%	7.44%	-0.23
ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）	646	-23.57%	-8.57%	20.67%	-0.41

< ベンチマーク（債券） >

FTSE世界国債インデックス（除く日本）	-	12.11%	3.88%	4.22%	0.93
----------------------	---	--------	-------	-------	------

1. お客様の利益を追求する運用、金融商品・サービスの提供

運用力に関するKPI②（運用資産別純資産残高上位5ファンドの運用実績）（2/2）

<不動産投信>

ファンド名称	純資産残高 (億円)	3年間の 騰落率	リターン (年率換算)	リスク (年率換算)	3年 シャープ レシオ
ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	4,680	-5.98%	-2.03%	16.95%	-0.12
ダイワJ-REITオープン（毎月分配型）	2,616	-1.43%	-0.48%	15.75%	-0.03
ダイワ米国リート・ファンド（毎月分配型）為替ヘッジなし	1,984	-6.64%	-2.26%	17.32%	-0.13
ダイワ・グローバルREIT・オープン（毎月分配型）	576	-1.94%	-0.65%	17.39%	-0.03
通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）	209	-40.57%	-15.92%	24.36%	-0.65

<ベンチマーク（不動産投信）>

東証REIT指数（配当込み）	-	1.09%	0.36%	15.80%	0.03
FTSE NAREIT®エクイティREIT・インデックス（配当金込み、円ベース指数）	-	-9.71%	-3.35%	19.50%	-0.17

<複数資産>

ファンド名称	純資産残高 (億円)	3年間の 騰落率	リターン (年率換算)	リスク (年率換算)	3年 シャープ レシオ
ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジなし	753	-16.85%	-5.96%	21.83%	-0.27
りそな・世界資産分散ファンド	330	-2.27%	-0.76%	11.49%	-0.06
i F r e e 8 資産バランス	174	-1.75%	-0.59%	10.68%	-0.05
ダイワ・ライフ・バランス30	145	4.46%	1.46%	4.48%	0.34
ダイワ・ライフ・バランス50	113	4.13%	1.36%	7.42%	0.19

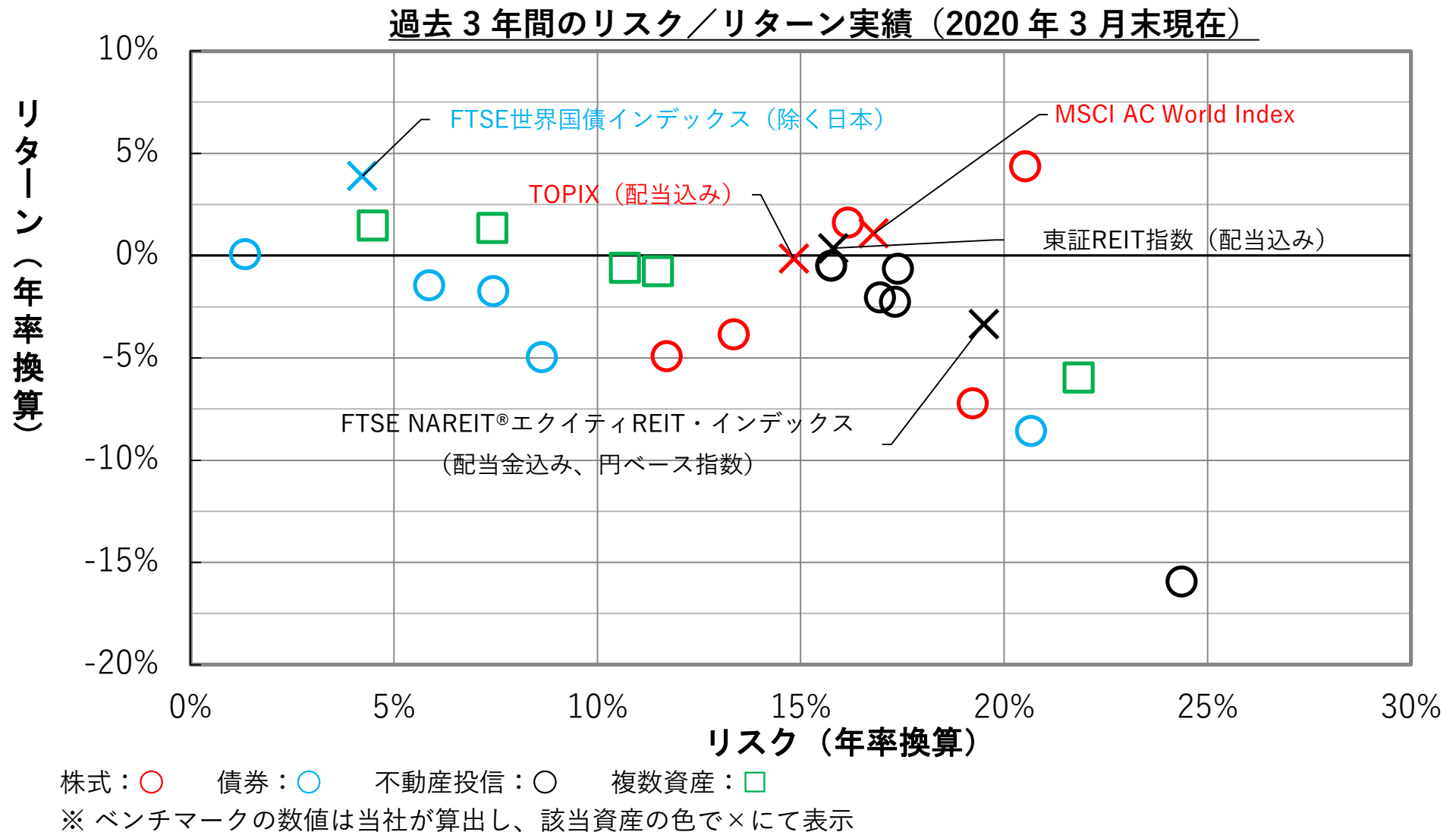
※1 「3年間の騰落率」及び「リターン（年率換算）」は、ファンド保有コスト控除後の数値です。

※2 リターンは投資収益率、リスクは投資収益率の標準偏差に拠っています。

※3 シャープレシオは、リターンから無リスク資産の収益率（無担保コール翌日物レート）を控除した後の値をリスクで除して算出しています。

※4 次のグラフは、表中の「リスク」「リターン」の関係をグラフとして表したものです。

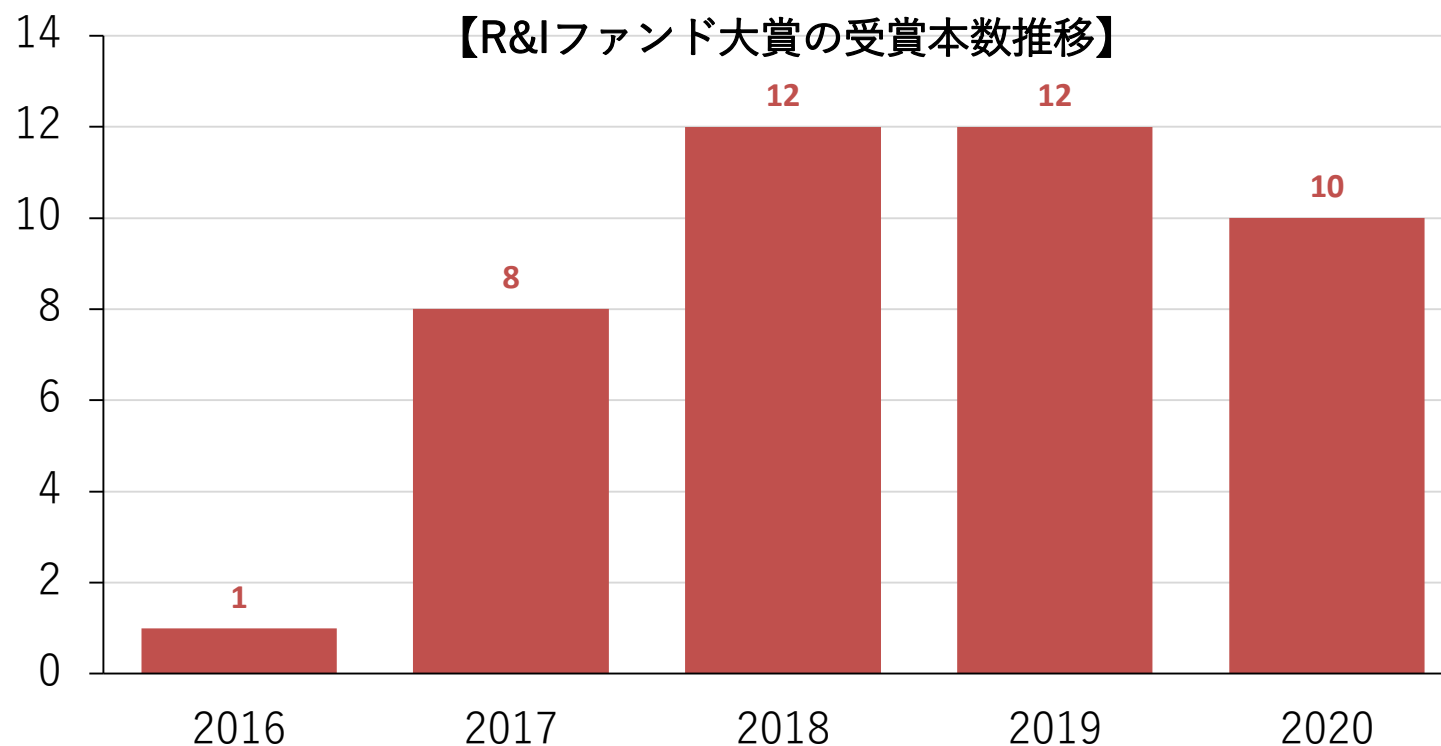
1. お客様の利益を追求する運用、金融商品・サービスの提供



1. お客様の利益を追求する運用、金融商品・サービスの提供

R&Iファンド大賞受賞

また、良質な運用実績を追求するため、様々な取組を継続的に行っており、「R & Iファンド大賞2020」では、長期資産形成の中核となるバランス型投信で「ダイワ・ライフ・バランス30」・「ダイワ・ライフ・バランス70」が、投資信託/NISA部門で最優秀ファンド賞、「ダイワ・ライフ・バランス50」がNISA部門で優秀ファンド賞を受賞しました。全体では7本のファンドが最優秀ファンド賞、3本のファンドが優秀ファンド賞を受賞しました。



2.お客様の投資をサポートする情報提供

各商品で想定するお客様の属性の表示

新たに企画・開発する公募投資信託商品において、投資信託説明書（交付目論見書）に「大和アセットマネジメントからのメッセージ」を掲載しています。商品化の趣旨を説明すると共に、当該投資信託商品への投資が適すると想定するお客様のタイプ（投資目的、リスク許容度等）についてお伝えし、お客様の投資判断に役立つよう努めています。

投資教育への取組み

バーチャル・コンシェルジュと一緒に投資を学びながら、お気に入りのファンドに資金を配分でき、「資産をどれだけ増やせるのか？」を楽しめるゲーム感覚ではじめられる投資体験アプリ「iFreeタッチ」の配信を開始しました。

「投資（investment）を、もっと自由（free）に」の思いを込め、投資未経験者にアプリを通じて新たな投資体験を提供し、資産形成の第一歩を促したいと考えています。

情報提供機会の充実

上記のほか、お客様への分かりやすく、きめ細やかな情報提供等、情報提供向上に取り組んでいます。2019年度には、「より見やすく、有益な」情報をお届けできるようコンテンツの整理・見直しを行い、ウェブサイトにおいて748件のレポート及び動画（法定開示書面を除きます。）を配信しました。当社が行う運用についてお客様に深く理解していただき、共感していただけるよう、運用哲学や運用の特色について個性的な情報をお送りしています。

3. お客様に安心して投資して頂くための業務運営基盤の確立

利益相反管理方針の策定

利益相反の発生の可能性について把握し、利益相反の可能性がある場合には利益相反を適切に管理するために、「利益相反管理方針」を策定し、その概要を公表しています。

スチュワードシップ監督委員会の設置

スチュワードシップ活動におけるガバナンス強化・利益相反管理の一層の充実のため、委員長及び構成員の過半数を社外取締役とする「スチュワードシップ監督委員会」を設置しています。2019年度は、スチュワードシップ監督委員会を3回開催しました。

注1) モーニングスターレーティングについて

モーニングスターレーティングは、モーニングスター株式会社が個々のファンドに対して付与する格付けであり、運用パフォーマンスを5段階に分けて評価したものです。概要については次の通りです。

- (1) 評価対象ファンド
運用期間3年以上のファンド
- (2) モーニングスターレーティングの計算期間
3年（36ヵ月）、5年（60ヵ月）、10年（120ヵ月）それぞれの期間でのトータルリターンを元に、3年レーティング、5年レーティング、10年レーティングを算出しています。
- (3) ランクについて
モーニングスターが独自に算出する「モーニングスターリターン」と「モーニングスターリスク」の差によって算出された数値をモーニングスターカテゴリー内で降順に並べ、次のレンジ区分に従ってランク付けされます。

ランク	レンジ区分			評価グループ
★★★★★			上位10.0% 迄	最上位
★★★★	上位 10.0% 超	～	32.5% 迄	平均以上
★★★	上位 32.5% 超	～	67.5% 迄	平均的
★★	上位 67.5% 超	～	90.0% 迄	平均以下
★	上位 90.0% 超	～	100.0% 以下	最下位

- (4) 総合レーティングの計算方法
総合レーティングは、3年、5年、10年を次の通り加重平均したものです。

3年以上5年未満のファンド	3年レーティングをそのまま使用
5年以上10年未満のファンド	3年レーティング×0.4+5年レーティング×0.6
10年以上のファンド	3年レーティング×0.2+5年レーティング×0.3 + 10年レーティング×0.5

※ モーニングスターのレーティング情報は、過去のパフォーマンスに基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しておりますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利は、モーニングスター株式会社並びにMorningstar,Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。(出所：モーニングスター株式会社)

※「R & I ファンド大賞」は、株式会社格付投資情報センター（R & I）が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につき R & I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。（出所：株式会社格付投資情報センター）